



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2011年（平成23年）6月5日号 No. 1530

## 目次

■ <b>ロシアの製薬・医療機器産業政策の動向</b> .....	山本 靖子 1
—輸入代替戦略は現実的か—	
■ <b>東日本大震災に関するロシアの報道振り</b> .....	11
■ <b>統計速報</b> .....	15
2011年1～4月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／15	
2011年1～4月の日ロ貿易／16	
■ <b>エトセトラ</b> .....	17
ロシアNIS貿易会の新役員名簿／17	
■ <b>トピックス</b> .....	19
新潟～ウラジオ定期コンテナ航路が開設／19	
三菱ふそう、ロシアでのトラック生産1,000台達成／19	
北海道の牧場、ロシア極東で飼料試験栽培／19	

## ロシアの製薬・医療機器産業政策の動向 —輸入代替戦略は現実的か—

ロシアNIS経済研究所 主任  
山本 靖子

### はじめに

メドヴェージェフ大統領を中心に、ロシア政府が推進する経済近代化、イノベーション型経済への移行。その5つの優先分野として掲げられているのが、IT、省エネ、原子力、通信・宇宙技術、そして製薬・医療機器である。

その一環として、政府は、2009年10月に「2020年までの製薬業発展戦略（Pharma2020）」、今年2月に「2020年までの期間および将来にわたる製薬・医療機器産業発展」連邦目的別プログラムを承認したほか、現在は「2020年までの医療機器産業発展戦略（Medprom2020）」を策定している。国産医薬品の市場シェアを現在の約23%から2020年までに50%に、国産医療機器のシェアを現在の約20%から2020年までに40%にすることなどが目標だ。

野心的ともいえる国産化・輸入代替政策、そして関連する薬事法制の動向について、ロシアの専門家はどのようにみているのか。今年2月にモスクワで行ったヒアリングの概要を紹介する（なお、産業と政策の動向に関して、より詳しくは、当会『新経済環境下のロシア市場 —製薬・医療機器産業と政策の動向』（2011年3月）をご参照いただきたい）。